

原子力設備向け通信機器収納ラック（剛構造）

・原子力設備向け通信機器収納ラックは、固有振動数30Hz以上の剛構造を有しており、内部のサーバや通信機器等を安全に収納するとともに、予想される東南海地震などの大地震発生時においてもその機能維持を図ることを目的とした耐震構造ラックです。



耐震構造ラック 正面



耐震構造ラック 正面扉開

※上図は原子力プラントに納入実績のある安全パラメータ表示システム（SPDS）盤の写真です。

特徴

1. 固有振動数30Hz以上の剛構造となっています。（耐震クラスS）
2. ラックサイズはEIA規格に準拠し、19インチラックが取付できます。
3. 正面・背面に扉を設け、内部機器にアクセスしやすい構造となっています。
4. 耐震型通信機器収納ラックとして、様々な用途に流用できます。

注1 実装機器の固縛方法、重量などにより固有振動数30Hz以上を満足できない場合があります。

注2 実装機器の損傷は、実装機器自体の耐震性能により避けられない場合があります。

四国電カグループ

よんけい



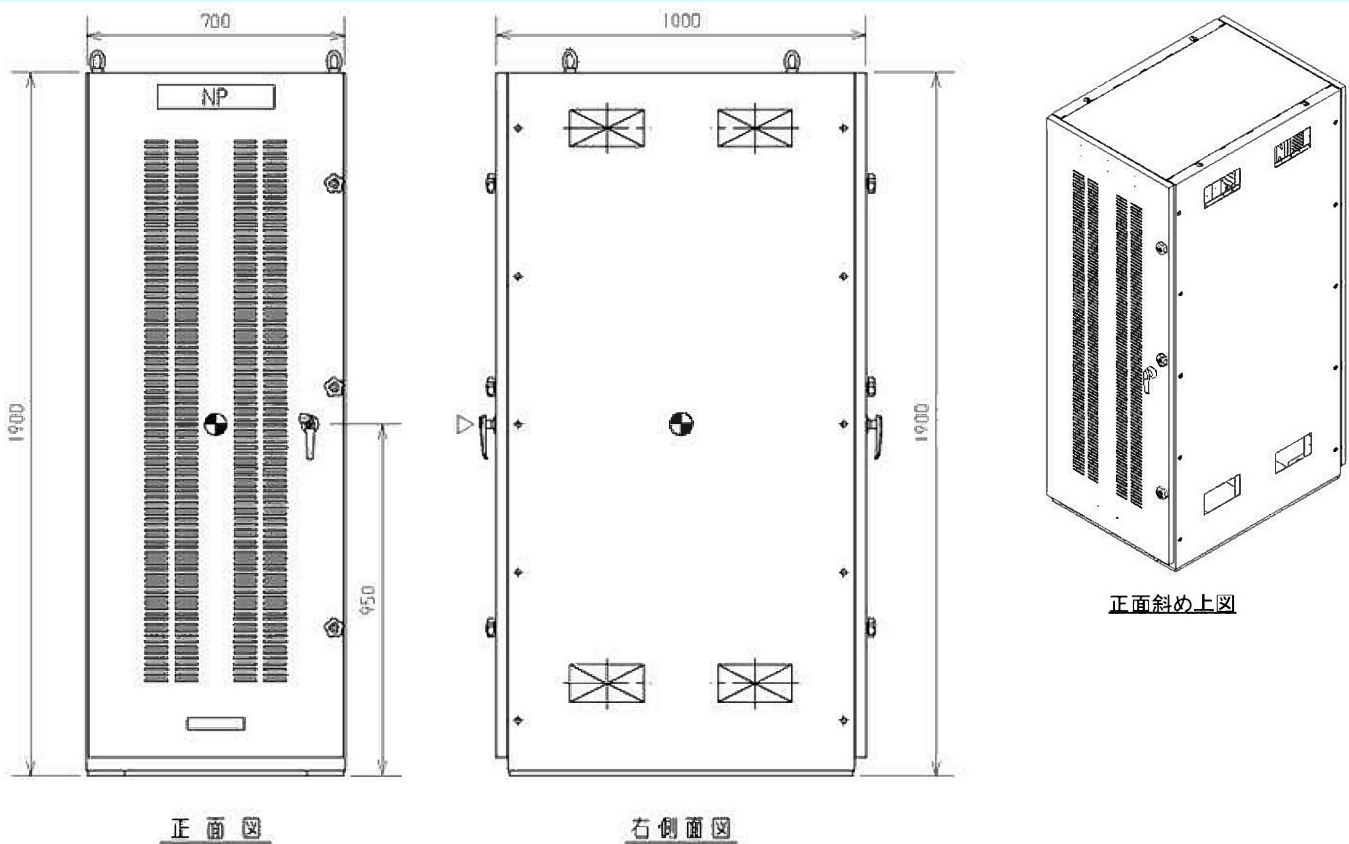
四国計測工業株式会社
SHIKOKU INSTRUMENTATION CO.,LTD.

基本仕様

外 観	盤種類：屋内自立盤 1面 寸法：700W×1000D×1900H (mm)、チャンネルベースを除く 扉：前後面、片開き、右ハンドル ケーブル引込口：下方及び側面 排熱：自然換気
質 量	約600kg (内部設置機器を含む)
据 付	チャンネルベースにボルト固定 チャンネルベースは基礎架台と溶接、またはアンカー止め
電 源	機器電源AC100V、端子台接続
接地	D種接地、端子台接続
接点信号	装置故障等、端子台接続
耐震性能	安全パラメータ表示システム (SPDS) 盤の加振試験において以下を確認 ※1
	<ul style="list-style-type: none"> 内部機器実装状態において、耐震クラスSの加振試験をクリア。 (最大加速度：水平方向 2.5G、鉛直方向 1.6G) 固有振動数は水平鉛直各軸方向で30Hz以上。 (水平方向：30Hz以上、鉛直方向：50Hz以上) 加振試験後、筐体に損傷や機能維持に支障がある欠陥がないことを確認。 また、加振試験後も内部機器が正常に機能することを確認。

※1 実装機器の重量や重心位置の高さなどの条件により上記性能を満足できない場合があります。

外形図



四国電力グループ

よんけい



四国計測工業株式会社

SHIKOKU INSTRUMENTATION CO.,LTD.

■ 本 社

〒764-8502 香川県仲多度郡多度津町南鴨200番地1

TEL 0877-33-2221

FAX 0877-33-2210

■ 製造事業本部 電力事業部 電力システム部

TEL 0877-63-2500

FAX 0877-63-7674

<http://www.yonkei.co.jp>